

事業者・関係団体等へのヒアリングについて

1. 実施概要・目的

公共交通事業者や関係団体等における課題や実態、将来の見通しや意向等についてヒアリングし、様々な移動に関する利用特性や運行上の課題、移動の課題等を把握することで、地域の実態に基づいた地域公共交通計画を策定することを目的とする。

2. 実施期間

2024年10～11月頃

3. ヒアリング内容

【公共交通事業者】	【関係団体等（NPO・地域団体など）】
①運行実態 (1) 季節・気候・天気ごとの違い、特に利用者が多くなる日（イベント、行事など） (2) 目的別の利用状況（通勤・通学以外で特徴のある路線等） (3) 主な利用者層の特徴（特に、バス路線） (4) コロナ禍を経た運行の変化や問題意識 (5) 利用促進策の取組状況 (6) 危険箇所や渋滞状況など	①主な活動 (1) 主な活動の内容 (2) 送迎バスやモビリティの運行状況
②雇用面について (1) 人手不足の実態（高齢化、就職希望者減など） (2) 人手不足への対応状況（効率化、採用活動の工夫など）	②活動を通じて把握している地域の課題 (1) 移動困難者や送迎が必要な人が多い地域 (2) 公共交通へのニーズが高い移動パターン (3) 公共交通の利用が不便な地域
③将来の見通し (1) 増便・減便などの意向 (2) 自動運転や事業統合など新たな取組 (3) 市や他交通モード、施設と連携した取組に関する可能性 (4) デマンド交通導入/グリーンスローモビリティに対する意向・意見 (5) 今後の利用者確保や代替交通の部分を担当することなどを考えているか (6) 公共交通計画策定やまちづくりに期待すること	③将来の見通し (1) 送迎バスやモビリティの導入の予定 (2) 地域の他団体との連携意向 (3) やってみたい活動、公共交通計画策定やまちづくりに期待すること
④その他、事業者としての困りごとや利用者からの声など	④その他、地域の困りごとなど